

害の軽減に努めてまいります。また、地震時におきましても、ライフラインが途切れることのないように、施設の耐震化や応急給水の充実を図るなど、災害対応力を高めてまいります。

▼ 観光まちづくり

地元の豊富な観光資源を有効活用し、北海道や近隣自治体などと連携してインバウンドの拡大を図ってまいります。また、ウトナイ交流センターにつきましても、豊かな自然が満喫できるロケーションを生かし、ラムサール条約の登録湿地であるウトナイ湖をPRするとともに、自然環境と調和する展望施設の整備に取り組んでまいります。

▼ 男女平等参画

市民、民間団体、企業、行政による連携と協働を図りながら、平等意識を高める人材育成や、働きやすい職場を目指すための取り組みを行うほか、若年層を対象としたDV防止啓発事業などに取り組んでまいります。

▼ キャップ CAP (まちなか再生総合プロジェクト)

子ども、若者、子育て世代のまちづくり活動への参加を促し、日常的にぎわい創出に資する拠点の整備、活用などに取り組んでまいります。また、商業者間の連携、さらには商業者による自主的な活動を支援し、日常的にまちなかに人の流れを生み出す取り組みを進めてまいります。

▼ 教育行政

北光小学校、緑小学校、啓北中学校および苫小牧東小学校・苫小牧東中学校の改築、ウトナイ中学校の新築、さらには錦岡小学校の増築・改修事業などを進め、学校施設の安全確保に努めるとともに、児童生徒の学習環境の向上に取り組んでまいります。

▼ スポーツ振興

12月に第91回日本学生氷上競技選手権大会アイスホッケー競技を開催し、水都とまこまいを全国にPRしてまいります。また、スポーツ施設の安定した維持管理を継続し、大会などへの利用を促進してまいります。

◆ 主要施策 ◆

▼ 共に支え合い健やかに 暮らすまち

- 町内会活動への支援は、町内会連合会と連携し、町内会への加入を促進するとともに、活動の活性化につながる助成を継続してまいります。
- 障がい者福祉は、自治体初の導入となった福祉トイレカー「とまレット」の利活用や、手話言語条例に基づく、手話の普及・啓発を促進してまいります。
- ひとり親家庭は、自立支援給付金支給事業および日常生活支援事業を継続することにより、自立促進に向け

た支援を行ってまいります。

- 健康関連事業は、がん検診の受診率向上、受動喫煙防止の推進、さらには自殺対策の強化に取り組み、市民の健康寿命の延伸を図ってまいります。

▼ 明日を拓く力みなぎる 産業のまち

- 工業の振興は、企業の技術力向上や人材育成を支援するため、テクノセンターで実施する技術指導や技術研修会などを充実させてまいります。
- 商業の振興は、地域内での経済循環を一層促進するため、とまチョップポイント事業の活用を進めてまいります。
- 苫小牧港につきましては、荷役の効率性と安全性向上のため、南埠頭岸壁の複合一貫輸送ターミナルの整備や、漁港区の屋根付き岸壁の整備を進めるとともに、北極海航路の試験輸送や貨物船の誘致を図ってまいります。

ます。

- (仮称)市民ホールは、市民の憩いの場となるサードプレイスを目指し、(仮称)市民ホール建設基本計画に基づいて、施設の建設に向けた準備を進めてまいります。

▼ 自然と環境にやさしいまち

- 環境保全是、安定的な環境監視を行うため、老朽化した大気汚染常時監視測定機などの整備更新を進めてまいります。
- 霊園は、社会情勢や価値観の変化に伴う埋葬方式の多様化に対応するため、共同墓の供用を開始いたします。

▼ 安全・安心で快適に 暮らすまち

- 市営住宅は、日新団地建替事業を引き続き進めるとともに、老朽化した住宅の改修や解体を行うなど、安全・安心な住環境の整備に努めてまいります。
- 上下水道は、安全でおいしい水を次の世代に引き継ぐための環境づくりに努めるとともに、下水道施設の老朽化対策を行い、機能確保に努めてまいります。
- 道路は、道路・橋梁の長寿命化や道路照明灯のLED化に取り組むほか、通学路の安全対策などを進めてまいります。

▼ 学び喜びがあふれる 文化の薫るまち

- 国際交流は、市民の国際理解を深める事業や外国人住民へのサポートを通じ、まちの国際化を進めてまいります。